

【愛知県におけるデータ集計について】

報告書（案）では、

経年変化等を解析する測定局の抽出

⇒10年間を通して、昼間(5～20時)の測定時間が3,750時間以上の測定局を対象。
 ⇒測定局ごとの測定結果総括表(年間値、月間値)のデータから、対象測定局を抽出。

濃度ランク別出現頻度やパーセンタイル値の解析：

⇒測定局ごとの1時間値データを使用。

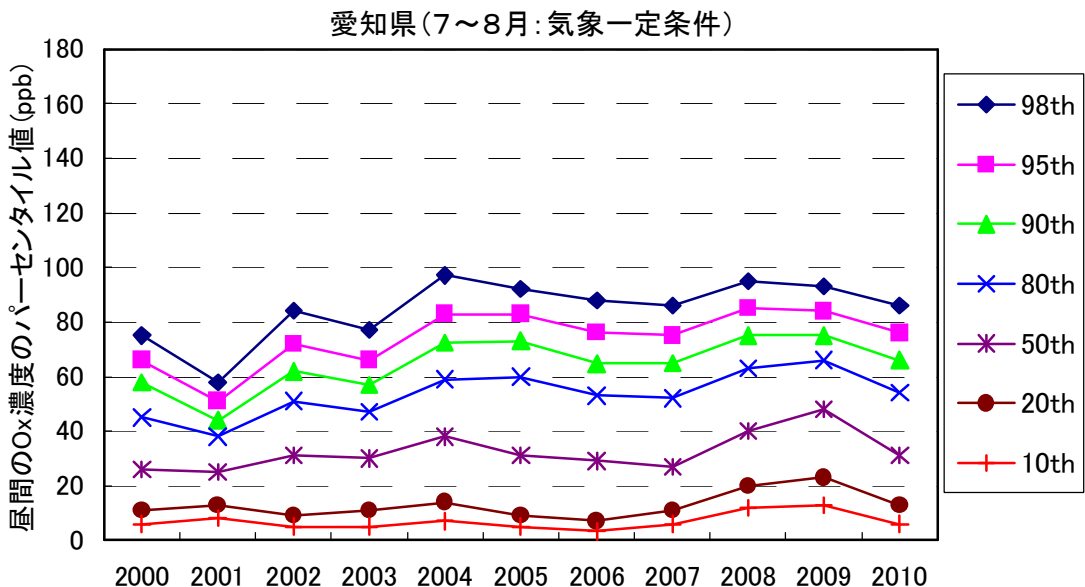
・月間値・年間値データから、愛知県においては、75局が10年間継続局の対象として抽出されたが、1時間値データのデータベースではこの75局の中で1時間値データが未収録の測定局があることが判明。

以上のとおり10年間継続測定局数は75局ではないため、本日の報告書（案）では愛知県の測定局数について

「2000～2002年度61、2003～2008年度62、2009年度69、2010年度58」と記載。

本来の解析対象である、10年間継続して測定時間が3,750時間以上である測定局49局を対象に解析したところ、局数が減少しても、傾向はほとんど変わらないことがわかった（以下のグラフ参照）。

【測定局数をデータが存在する11年間継続局としたグラフ】



測定局数：愛知県（49）

図 4.1.3-14 一定の気象条件での昼間の光化学オキシダント濃度パーセンタイル値

東京都および京都府においても2010年度で継続局数の減少があったが、2000年度～2010年度を通じた全体の傾向は変わらないと推測される。